

メディア部門新聞最優秀賞

東日本旅客鉄道株式会社 ああ、来てよかった。TOHOKU Relax 東北の四季篇

この度は、フジサンケイグループ様よりこのような栄誉ある賞をいただき大変光栄に存じております。関係する皆さまに厚く御礼申し上げます。

弊社は会社発足以来、東北の観光振興を大きなテーマとして取り組んでおり、直近では、2011年に発生した東日本大震災によって大きな被害を受けた東北の復興を「観光の力」で共に成し遂げたいとの気持ちで、「行くぜ、東北。」キャンペーンを10年にわたり実施してまいりました。

その東北への強い想いを引き継ぐ形で、私たちは地域の皆さまとともに東北の未来づくりに取り組むため、2023年7月に「東北の宝ものプロジェクト」を始動し、その新たなブランドとして、今回の受賞作品である「ああ、来てよかった。TOHOKU Relax」を立ち上げました。

東北で得られるもの、それは心と体が整う感覚、つまりは“ほんとうの”リラックスであり、コロナ禍を経た今の時代が必要としているものだと考えます。東北にはまだまだ知られていない資源＝「宝もの」が多くあります。その「宝もの」を地域の皆さまとともに探し、磨き、つくりあげ、多くのお客さまに知って、来て、そして東北を好きになっていただくために、JR東日本グループは今後もさまざまな資源を活用して、長期的に交流人口・関係人口の創出に挑戦してまいります。

この広告が、東北の「宝もの」に触れ、感じ、リラックスする旅へ一人でも多くの方をいざなうことを心より願っております。

最後になりますが、フジサンケイグループ広告大賞がますますご発展されますことをお祈りし、受賞のご挨拶に代えさせていただきます。

東日本旅客鉄道株式会社
コーポレート・コミュニケーション部門長

塩原 敬



メディア部門新聞最優秀賞

東日本旅客鉄道株式会社 ああ、来てよかった。TOHOKU Relax 東北の四季篇



どうして自然を前にすると、深呼吸するんだろう。
どうしてきれいな水の音に、落ち着くんだろう。
どうして日々のなかでそれを、忘れてしまうんだろう。
東北には私たちの心が欲しがっているものがたくさんある。
そういうものと出会うとき、私たちはこうつぶやいている。
「ああ、来てよかった」。
それは、何かが整ったサインかもしれない。

ああ、
来てよかった。

TOHOKU
Relax



@ tohokurelax_official



産経新聞 7月24日 15段

制作者のことは



株式会社電通
エグゼクティブクリエイティブディレクター

高崎 卓馬

ここ数年、東北がますます魅力的になってきている。コロナの影響で私たちの価値観が少し変わったせいだろうか。記憶のなかにある原風景を心が求めているようにも思う。昔、聞いた自然の大きくて遠い音や、雲を眺めている時の風の匂いに、もう一度会いたいという気持ちが強くなっている。そこに安らぎがあることを私たちは知っている。SNSに載せる写真や動画にそれは残念ながら写らない。写らないから共有できない。自分の体で体験することでしか得られない。旅とはそういうものだ。今私たちに必要なものが東北にはある。そんな思いでキャンペーンを始めました。大きなものに抱かれたいと思ったらぜひ東北へ。

使用媒体 ● 産経新聞

企画制作＝株式会社電通・ルル株式会社・有限会社CPU direct・株式会社ジェイアール東日本企画／エグゼクティブクリエイティブディレクター＆コピーライター＝高崎卓馬(株式会社電通)／クリエイティブディレクター＆アートディレクター＝八木義博(株式会社電通)／デザイナー＝畠山大介(ルル株式会社)・藤田将史(有限会社CPU direct)／製版・印刷＝田村慎也(株式会社電通プロモーションエグゼ)／アカウント・エグゼクティブ＝池上直人・梅沢真実(株式会社電通)・豊田和希・井上祐恵・那須田彩(株式会社ジェイアール東日本企画)